

働き方改革推進支援助成金事業実施結果報告書

広島 労 働 局 長 殿

事業主団体等又は代理人 住所 〒722-0073 尾道市向島町 1605 番地 4
電話番号 0848-44-3005
(法人名) 尾道しまなみ商工会
代表者職・氏名 青木 透

事業主団体等又は社会保 住所 〒722-0073 尾道市向島町 1605 番地 4
険労務士 電話番号 0848-44-3005
(提出代行者・事務代理者 (法人名) 尾道しまなみ商工会
の表示) 代表者職・氏名 武内 賢司

※申請者が代理人の場合、上欄に代理人の氏名等を、下欄に働き方改革推進支援助成金の支給に係る事業主団体等の住所、名称及び氏名を、申請者が社会保険労務士法施行規則第 16 条第 2 項に規定する提出代行者又は同則第 16 条の 3 に規定する事務代理者の場合、上欄に事業主団体等の氏名等を、下欄に申請者の氏名等を記載してください。

働き方改革推進支援助成金事業の実施の結果について、下記のとおり報告します。

記

(1) 事業実施予定期間	令和 6 年 10 月 17 日から令和 7 年 2 月 10 日		
(2) 成果目標 ・新商材を 3 種類開発 ・東京の展示と広島市の夢プラザで 新商材のアンケート調査で開発商品 のフィードバックを通じて改良して 商品化 ・展示会（東京・尾道）で会員の商材 を PR して販促活動	(事業実施前) 903	事業主	
	(事業実施後) 1006	事業主	
	(参考) 事業主団体等の 2 分の 1		
	事業主団体 × 1 / 2 =	451	事業主
(参考) すべての構成事業主 (※ 1)	903	事業主	
(3) 改善事業の取組又は改善事業取組結果の伝達状況			
◎材料費、水道光熱費、在庫等の費用低減（労働費用除く）の事業 テーマ フードロスの低減・・・(尾道名物食材を有効に活用する商材開発) ※尾道しまなみ商工会提案による会員企業とコラボ新商材の開発 ①尾道で生産柑橘類特に瀬戸田レモン・因島の八朔等果皮を有効に活用したアイス 手順 果皮と果肉をいかに分離させるか 1. カジュタで分離			

(団体推進コース)

2. 尾道市瀬戸田の社会福祉法人ボナプール楽生苑の障害者就労作業所で指導員による
工程作業を工夫して分離化を実践する。(障害者の就労支援が可能になる)

(工程手順) 障害者就労支援の場合



(工程手順) カジューターにる場合



アイスクリーム専門店サニーサイドにて商品化



(団体推進コース)



②尾道市向島町等の名産無花果の規格外品をシロップ漬加工にして商品化



(団体推進コース)



(団体推進コース)

③尾道から出るフードロスからヘルシーキャット・ドックフードを試作製造して商品化する
フードロス（海産物イリコ）尾道海産株式会社にて加工



専門家 医学博士（田島佳子）論文監修

別紙参照（日本語と英語論文）

専門家 獣医師（浅枝英希）監修

専門家 獣医師（浅枝瑛子）監修

別紙 映像 QR コード



追記

向島製麺所

既存製麺うどん 尾道うどん 瀬戸内海産のいりこ（煮干し）と生姜風味うどんを開発
別紙チラシ参照

※（材料等低減）商品化し⇒マスメディアに情報提供プレスリリース

NKHの幕張メッセ展示会等放送番組「お好みワイド」にて放映

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/hiroshima/20241204/4000027808.html>

検索ください。

◎販路の拡大等の実現を図るための展示会開催及び出展、商談会開催

JFEX11月27日（水）～29日（金）幕張メッセ展示会参加

322 社出展

バイヤー参加 10,565 名

(団体推進コース)



(団体推進コース)

◎地元尾道向島で開催される「第31回 にこぴんしゃん祭」に展示会出店
会員に商材をPR 開発商品は、全て未完成のためPR出店は無し
参加者 約2500名



◎広島市夢プラザにてアンケートとPR展示会



(4) 事業実施結果の効果検証、活用方法の検証

(効果検証)

フードロス (3商品) 追加商品1品の開発は完成しまして11月27日からの展示会に出品
商材PR実施

(団体推進コース)

販売開始を令和7年度4月以降で随時販売開始予定

幕張メッセ展示会等

顧客のアンケートを参照ください。

(活用方法の検証)

現在の見積依頼先

リスト・・・海外 ((株)高山商事⇒アメリカのスーパーマーケット

・・・広島県漁業協同組合連合会⇒生協ひろしま

・・・ヤクルト商事⇒全国のヤクルト販売代理店